

# HR-1 プログラミング解説・操作方法

アクティくん



アクティくん 明るさ : 96

ファイル ▾ 接続処理 転送 実行 その他 ▾

プログラムの保存は定期的に行ってください。

左右調整値(-10~10)

プログラム

```
if (cds>60){
redon(1);
motor(1,100,100);
}
else{
whiteon(3);
motor(3,100,100);
}
```

フルカラーLED

命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
赤 点灯	redon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
緑 点灯	greenon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
青 点灯	blueon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
黄色 点灯	yellowon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
紫 点灯	purpleon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
水色 点灯	lightblueon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
白 点灯	whiteon	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
消灯	off	時間(0.25秒間隔)	-	-	-
フェードイン	fadein	色	-	-	-
フェードアウト	fadeout	色	-	-	-

プログラム (LED専用)

# プログラミングの流れ



## ① プログラムを作成する

## ② アクティクンを接続する

手順1 電源をOFFにしUSB ケーブルでパソコンへ接続します



手順2 電源を ONにします



手順3 アプリの「接続処理」をクリックしデバイスを選択し「接続」ボタンを押す



## ③ 接続を確認し「転送」をクリックしプログラムを転送する

## ④ 「実行」をクリックし転送したプログラムを実行する

※モータ命令を含む場合は USB ケーブルを抜き「RUN」ボタンを押すと実行されます。

# アクティクんの接続

## ●パソコンと接続

手順1 電源をOFFにしするUSB ケーブルでパソコンへ接続します



手順2 電源を ONにします  
電源を ONにするとアクティクんのフルカラーLEDが白く点灯します



手順3 アプリの「接続処理」をクリックし、デバイスを選択し「接続」ボタンを押す



左図のようなデバイス一覧画面が表示されない場合

①アドレスバーに  
「chrome://flags/#enable-experimental-web-platform-features」と入力する

← → Chrome | chrome://flags

②「Experimental Web Platform features」を Enabled にする

Experimental Web Platform features  
Enables experimental Web Platform features that are in development. - Mac, Windows, Linux, Chrome OS, Android  
#enable-experimental-web-platform-features

Enabled  
Disabled  
Enabled

アプリの使用中に転送ができない場合はパソコンとの接続を再度行ってから転送して下さい

## ●転送・実行

転送・・・「転送」ボタンを押すとアクティクンへデータが転送されます。  
転送中はフルカラーLEDが緑で点灯します。



実行・・・「実行」ボタンを押すとアクティクンへ転送されたプログラムが実行されます。  
※モータ命令を含む場合はUSBケーブルを抜き「RUN」ボタンを押すと実行されます。



# プログラムの作成

## ●基本書式

関数名 ( 引数 );

※引数が複数ある場合は “ , ” カンマ区切りで入力する  
「 ( ) ; 」 は半角で入力する

## ●入力例

引数が 3 つある場合

`motor(1.5,100,100);`

関数名      引数 1      引数 2      引数 3

モータ	命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
モータ		motor	時間(0.1秒間隔)	左動作(-100~100)	右動作(-100~100)	-
左右SWがONになるまで		motorswon	左動作(-100~100)	右動作(-100~100)	-	-
左SWがONになるまで		motorleftswon	左動作(-100~100)	右動作(-100~100)	-	-

引数がない場合

`beep1();`

関数名

サウンド	命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
確認音 1		beep1	-	-	-	-
確認音 2		beep2	-	-	-	-
確認音 3		beep3	-	-	-	-

## ●詳細の表示

各命令をクリックすると、詳細説明が表示されます。

モータ	命令の種類	関数名
モータ		motor
左右SWがONになるまで		motorswon
左SWがONになるまで		motorleftswon
右SWがONになるまで		motorrightswon

→

モータ (時間)	
動作	
指定した秒数モータを動作させることが出来ます。	
型	
関数名 ( 時間 , 左モータ , 右モータ );	
緑文字 :	関数名 (設定画面で変更も可)
赤文字 :	決められた文字 (半角)
青文字 :	任意の数値
時間	1~25.5秒までの0.1秒間隔の数値 (半角)
左モータ	-100~100までの1間隔の数値 (半角)
右モータ	-100~100までの1間隔の数値 (半角)
プログラム記入例	
関数名が"motor"で3秒、モータ100で前進の場合	
<code>motor(3,100,100);</code>	

## その他機能について

### ●保存・読み込み

お使いのハードウェア本体へ保存・読み込みする場合と、外部ファイルへ保存・読み込みする方法の2通りあります。  
用途等使い分けしてご使用ください。

### ●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。

## 動作について

### ●アクティクんとパソコンを接続し電源を ON にした場合

白が点灯し、プログラム転送モードになります。(パソコンからのデータ転送が可能になります)  
実行した時は転送済みプログラムを **1度だけ実行**します。

### ●アクティクんとパソコンに接続しないで電源を ON にした場合

転送済みプログラムが**繰り返し実行**されます。

## その他

### ●電池の使用について

パソコンと接続した USB ケーブルから電源を取るので、電池や AC アダプタを使わずに授業ができます。

授業毎に電池を外してください。

電池を入れた状態でスイッチをオンにすると LED が点灯していなくても本体が動作しているので、電池を消耗してしまいます。

自宅で使う場合、電池よりも経済的な AC アダプタ (DC-05) の使用をお勧めします。

久富雷機産業株式会社